

報道関係者 各位

令和4年5月11日
るもい農業協同組合

北海道留萌管内における行政とJAるもいが締結する 包括連携協力の協定書の締結式について

令和3年2月に北海道初となる振興局1JAとして発足した、るもい農業協同組合（JAるもい）では、農業を基軸として留萌振興局全体の地域活性化に向けた取り組みを実践しております。

今般、より一層の地域活性化を図るため、留萌振興局管内8市町村（留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、遠別町、天塩町、初山別村）と包括連携協定を締結するとともに、行政と連携して「ふるさと共創事業」を展開していくことになりました。

つきましては、下記のとおり締結式を開催いたしますのでご案内いたします。

記

1 締結式の概要

留萌振興局全体の地域活性化を図り、関係人口の増加を目的として、地域産業の創造や雇用の創出、暮らしや食育、特色のある特産物のPRや商品開発など多面的に連携するため、当JAと留萌振興局全8市町村との連名による包括連携協力の協定書を締結

2 式典概要

- (1) 日時 令和4年5月23日（月） 15時～（所要時間15分程度の予定）
- (2) 場所 羽幌町中央公民館 3階相談室
苫前郡羽幌町南6条2丁目
- (3) 出席団体 留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、遠別町、天塩町、初山別村
るもい農業協同組合

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

るもい農業協同組合 企画広報室（前川・野田）

TEL：0164-62-2144

Email: akira.maekawa@rumoi.ja-hokkaido.gr.jp

(ご参考)

1 るもい農業協同組合の概要（令和4年3月末時点）

名 称	るもい農業協同組合
所 在 地	北海道苫前郡羽幌町南6条2丁目16-4
設 立 年 月 日	令和3年2月1日
代 表 者	代表理事組合長 長谷川裕昭
特 徴	<ul style="list-style-type: none">・ 北海道の北西部に位置し、その西側は美しい日本海に面する南北約200キロメートルの海岸線沿いの中山間地帯に所在。・ 水稻、小麦、豆類、てん菜などの畑作物、メロン、ミニトマト、花卉などの施設園芸、南瓜、アスパラガスなどの露地野菜、さくらんぼやりんごなどの果樹、酪農畜産と多様な品目を取り扱い、「北海道農業の縮図」と言われる農業地域。・ 令和3年度の販売高は153億円。

2 「ふるさと共創事業」の概要（詳細は別紙をご参照ください）

当JAでは、令和4年4月に専担部署を設置し、留萌振興局管内の魅力ある観光・食・産業を発信し、管内の関係人口増加に向けた取り組みを実践してまいります。

特に令和4年から6年を重点期間と定め、以下の取り組みを行っていく予定です。

① 管内農畜産物の統一ブランド化

⇒ 旧JA（JA南るもい、JA苫前町、JAオロロン、JAてしお）時代にJA単位で使用していたブランドを統一し農業振興を図るとともに、ブランドの著作権開放も積極的に行い、オールるもいで地域振興を図ってまいります。

② 管内農畜産物を活用した商品開発

⇒ 管内の高品質な農畜産物を地元企業や高校生と連携して商品開発を行い、るもい農畜産物の更なる付加価値向上に加え、地域の観光資源として活用してまいります。

③ ネットとリアルによる情報発信

⇒ 上記ブランド、加工品の認知度を高めていくためにも、管内・道内はもとより道外の方々に対しても発信を行ってまいります。
⇒ 首都圏でのイベント開催に加え、WEBやSNSも活用し管内を訪問できない方々にもるもいの魅力を体感してもらえるよう取り組んでまいります。



包括連携協力に係る協定書の協定式

JAるもい
ふるさと共創事業「活動概要」

2022.05.23

JAるもい ふるさと共創事業の活動内容について

JAるもいのブランドゴールイメージ

「北海道＝るもい農業」を目標に、WEBをフル活用した全国展開を図ります。

ブランドゴール達成に向けて

- ①島根県とほぼ同じ広さのJAるもいでは、ブランディングの構築とJA内部（組合員、職員）とJA外部（行政や関係する人や企業）を繋ぐ目的で全役職員参加型の専門部署を設置し、令和4年から令和6年を重点期間として活動を始めました。
- ②北海道民と首都圏をターゲットとして、全道初となる振興局管内1JAである有利性を発揮するため、管内8市町村の行政・観光・他産業との連携強化をJAるもいが担うことで、地域全体の活力創出を実現させます。
- ③るもいの風光明媚な景色や地域に携わる人を紹介し、地域を知る機会をきっかけ増やし、JAるもいの弱みである小規模生産量と強みである美味しい多様な農産物（果樹、お米、メロンや南瓜、小麦、大豆、花卉、酪農、畜産）の特徴を活かした新たな販路拡大の実践をします。

JAるもいのブランディングにより、各行政と連携しながら「るもい農業」「るもい農畜産物」のみならず「るもい」の観光や漁業など他産業の魅力を地域内外に発信し、留萌管内に関わり合いや応援してもらう関係人口の増加を目指します。



「JAるもい」が、今やりたいこと

① JAるもいのイメージづくり

- ・北海道と言えば「るもい農業」
- ・地元向けには、多くの人に美味しい農畜産物を伝え
- ・全国的には、美味しい農畜産物を伝えるツールとして、山から海までの四季折々の風光明媚な景色と、特徴的な風や波を紹介する機会を増やしたい。

② JAるもいのPR戦略

- ・WEB（HP、ECサイト、SNS）をフル活用したイメージPR活動の展開

③ JAるもいと地域のつながり

- ・行政や漁協・商工、高校等の地域や団体や人との強固な関わり合い

④ JAるもい販路拡大イベント

- ・SNSの反響が高い、首都圏と札幌市内において、留萌管内の観光などやJAるもいの農畜産物PRイベントの開催

⑤ 加工商品や料理レシピの開発

- ・地元企業や高校等と連携した加工商品や美味しい料理レシピの開発（農畜産部×海産物×地元飲食店や加工業者＝新加工商品や新メニューなど）

○地域があつてのJAとして、農業にこだわらず地域の風光明媚な観光スポット、飲食店や農水産物の美味しさ、優しい人など紹介するJAるもいのHP及びSNS（Instagram、LINE、Facebook）を通じ、留萌管内が持っている魅力の発信を行いたい。



○行政、漁協、商工、観光、高校などとのコラボレーション企画

○市町村からの情報提供とイベントプレゼント経費について、市町村からの支援を受けながら開催したい。

○地元飲食店での活用
○輸出も視野に入れたアイテムづくり

チームるもい

行政
(8市町村)

JAるもい
(留萌管内単一JA)

地元業者・学校
(食品加工等)

① 包括連携協定の締結(地域活性化)

著作権管理・活用検討

① 管内農畜産物の統一ブランド化

作成・使用・著作権解放

活用

② 管内農畜産物を使用した商品開発

検討企画・調整

検討参画・原料供給
・設備更新

検討参画・開発

③ 管内農畜産物・観光資源PRに向けたHP・ECサイトの新設

情報提供・支援

HP・ECサイト新設

協力

④ PRイベントの開催

JAが農業を基軸に行政や業者と有機的に手を取り合い、各種施策のきっかけ、また自らそのダイナモとなることをもって、新たな地域の魅力創出・発信に取り組み、しいては地域活性化に寄与する